



## 工藤篤子メールマガジン 33号

2003・8・22

### ■葬儀後・・・

このところヨーロッパを悩ませていた異常高温も過ぎ去り、さわやかな毎が続いています。

お祈り、ありがとうございました！

母の葬儀後の後始末を終えて、8月14日、ハンブルクに戻りました。この一ヶ月、たくさんの皆さんからメールやお便りをいただき、慰められ、力づけられました。この場を借りて、心からお礼申し上げます。おひとりおひとりに返事が書けなかったことをどうぞお許してください。

(写真：アルスター湖畔にて。後ろに見えるのは、市役所とニコライ教会の塔)

### ■葬儀後・・・

母の葬儀後、最も大変だったのは、家の片付けでした。今の家に移り住んでから35年間、戦争を経験した母は、何ひとつ物を捨てることができませんでした。それを今回、親戚の助けも借りて、一斉に整理したのですが、こちらへ戻る前日まで、その作業に明け暮れました。

それにしても、その人が大事にしていたもの、あるいは保管の仕方、その人の人となりが分かるものです。私は、今回の整理を通して、母の新しい面をたくさん発見をしました。整理は大変でしたが、母のことを理解する大切な時となりました。

### 父(和夫)のこと

前回のメルマガで書かせていただいた通り、父は、今、福音に心を大きく開いています。けれども、これは母の死で急に降って沸いた出来事ではなかったことが分かりました。実際、父は昨年あたりから、聖書や教会の歴史についてよく聞いてくるようになっていました。でもそれは、私が「人を受け入れる愛の人になった」からだ、と父は2週間前に言ったのです。

以前の私は、私が信仰を持ったことを快く思っていない父と戦ってゆかなければいけない、とどこかで思っていました。それが、ある日、両親を救うのは主のなさること、私にできることは、まず両親を愛し、心から敬い、たゆみなく祈ることだ、私が家族を救いに導かなければならないと思っていたのは実に傲慢だった、と悔い改めさせられたのです。そうしたら、父からきついことを言われても受け流せるようになりました。その私の変化を、父は確かに察知していました。私が主に委ねられるようになったので、主が真の意味で私を用いてくださるようになったのです。今回、以前の自分のかたくなさを反省するとともに、人を救いに導くのは「愛」であることを悟られました。

## 妹（睦子）のこと

妹の慰めになれば、と京都の姉妹がゴスペルのCDを送って下さいました。妹は大変気に入り、毎日、寝る前に聞くようになりました。知的障害者には、神様は時々不思議な能力を与えて下さいます。妹の場合は、歌を3回聞けば全部覚えてしまうという、歌手のわたしもかなわない能力を持っています。それで彼女は、CDと一緒にいくつかの歌を口ずさむようになりました。そして、京都の姉妹に礼状を書きました。そこには、「私もイエス様を信じています。このイエス様が私のたましいを慰めてくれると思います。」と書いてありました。主は、賛美を通して、ダイレクトに妹のたましいに語りかけて下さったのです！

このように、主は、母の葬儀後、たくさんの恵みを我が家に与えて下さいました。私も、この主のみ業に感動しながら、大きな慰めをいただいてドイツに戻ることができました。どうぞ引き続き、父と妹のためにお祈りください。

## 主婦の恵み

今回は、日本で一ヶ月近く、生まれて初めて四六時中主婦業に専念しました。しかし、ご飯を作るにも、日本食をほとんど作ったことのない私には至難の業でした。友人に作り方を聞きながら、どうかおいしくできますようにと神様に祈りながら料理をしました。すると、父も妹も、「あー、おいしかった！」と言って食べ終わるのです（私には時々、今ひとつの味だったのですが）。その度に主に感謝しました。また、父はふだん自転車で移動しますが、不注意な時があり、人にぶつかりそうになったのを何度か見ました。それで、父が外出するたびに心配になるわけです。ですから父が外出する度に祈りました。すると、大丈夫、主が守って下さるという確信が与えられて、平安に父の帰りを待つことができたり・・・このように、いろいろなことで一日に何度も何度も祈りました。

ある日、ああ、主婦に与えられた恵みとはこのようなものだったのだ、家事をしながらこんなにも祈ることができる、家族は主婦の祈りと家事に支えられているのだ、主婦に与えられた特権とはこんなに素晴らしいものなのだ、などと新鮮な感動を覚えたりしました。

---

## ●これから（お祈りください）

8月22日から26日まで、ダルムシュタットにあるマリア福音姉妹会のイスラエルのための祈りの週間に参加します。また、8月29日～31日は、教会の修養会です。祝された時となりますようお祈りください。

日本での一ヶ月の滞在のため、クリスマスCDのジャケットの原稿作成や秋のコンサートの準備、税金申告書作成と、仕事が山のようになっている状態です。ひとつひとつを速やかに進めることができますようお祈りください。

---

先日、スペインのモンセラット修道院から、世界の現状について、とても興味ある統計が届きました。この統計を見て、もっと世界のために祈らなければならないと思いました。この統計、次回のメルマガに是非書かせていただこうと思っています。

また2週間後にメルマガを送らせていただきますね。

木の葉の色や風に、秋が近づいてくるのを感じさせる今日この頃、どうぞ、皆様にとって健やかで平安に満ちた時でありますようにとお祈りしています。

感謝とともに

工藤篤子